

## 認知症作業療法 活動報告（概要）

青森県作業療法士会では今年度、認知症初期集中支援チーム推進委員会から認知症の人の生活支援推進委員会と名称を変更し事業の拡大を図った。事業の柱は①認知症初期集中支援事業②人材育成③普及・啓発活動④県内OTの認知症関連状況の把握としている。その中で今年度、最も力を入れた部分は【認知症作業療法の普及・啓発】であった。人材育成としてのUD研修や地域活動、家族の会との繋がり、介護予防教室、県高齢福祉保険課主催の市町村セミナーでの情報提供と幅広く活動した。

## 認知症作業療法普及活動

昨年度の経験から、住民だけでなく医療・介護従事者や関係団体へ認知症作業療法の普及活動を実施。UD研修では対象を医療・介護従事者とし認知症作業療法をPRした。八戸市健康まつりに作業療法コーナーとして初出展し住民へPRした。認知症相談コーナーでは初期集中支援事業に繋げるべき対象者もいた。家族の会にはOT個人として数人入会され、つどいや街頭活動に協力しながら少しずつではあるが作業療法を伝えている。予防教室は以前からも関わってはいるが【脳活き活き体操】など認知症に特化した依頼も増えてきている。行政への働きかけで効果があったのは、県庁認知症施策担当者と面識を持つことができたことで、そこから市町村職員（包括中心）対象のセミナーで認知症作業療法を情報提供できた。キャラバンメイトを持った会員が今年度は増加し各圏域での活躍に期待する。とりわけ八戸市ではOT対象とした認サポを開催予定（11月）。



来年度、県士会主催で開催予定の認知症スタンプラリー。住民へ認知症を理解してもらうための活動。認知症疾患センター・家族の会・若年性認知症総合支援センター・行政などに協力してもらいながら認知症作業療法への理解も説明していきたい。



## 認知症初期集中支援事業

昨年度は40市町村中5市町村での関わりだったが、今年度は11市町村で関与している。各市町村における事例集積しOTがどう関わったのか？人材育成も含めた報告会を開催している。

## OTアンケート事業

県内OTが認知症に関連した活動をどこでどの程度実施しているのか把握できていない。病院・施設においても認知症の人に対してどういった内容のOTを展開しているのか？そのためのアンケート企画。



## 今後の展開

- ・ 県士会主催認知症スタンプラリー開催のための各団体との調整・準備
- ・ 【県士会】と【認知症の人と家族の会】との繋がりを作っていく
- ・ UD研修会だけでなく中級・上級コースなども検討していく
- ・ 県内OTの情報把握